

私の仕事と楽しみについて

中日本建設コンサルタント株式会社/
環境技術本部/第1部/第1課

神野夏海



1. はじめに

私は、新型コロナウイルスが流行し始めた2020年4月に中日本建設コンサルタント株式会社に入社し、現在は4年目になります。入社してから現在まで水道施設の設計や計画をする業務に携わっています。私は入社するまで、水道に関する知識はほとんどありませんでした。そのため、入社後は勉強と業務を進めるのに必死になる毎日でした。

今回は、私がこれまで携わった業務について紹介したいと思います。また、私は、食べるのが大好きなので出張先で食べて美味しかったものベスト3を紹介させていただきます。

2. 私が携わった業務について

私は3年間でポンプ施設の全体計画、設備の更新設計など水道施設に関わる様々な業務に携わりました。今回はその中でも印象に残っている3つの業務について紹介します。

(1) ポンプの更新設計

1年目に携わった業務で浄水場に設置されている既設のポンプ設備を更新するという業務でした。浄水場は私たちの生活に欠かせない「水」を作っている施設であるため、ポンプを更新する際にも浄水場の運転に支障を与えないような方法で施工を行う必要があります。

ポンプを更新するにあたり現況を把握する必要があるため、まず現地調査を行ったのですが、調査を行ってみると既設図面には図示されていない設備が設置されていたり、ポンプの基礎の大きさが既設図面とは異なっていました。図面と現地との状況は必ずしも同じではないため、現地調査を行うことの重要性を学びました。

また、この業務では現地調査から報告書の作成、概算工事費の算出まで全て行い、業務全体の流れを把握することができました。

(2) 沈澱池・ろ過池設備更新設計

この業務では地下にある沈澱池とろ過池の設備の更新

設計を行いました。この業務の最大の課題は計画浄水量の減少に伴い、ろ過池の洗浄水を確保することができなくなることでした。このため、まずは設備更新の計画をするのではなく、どのようにろ過池の洗浄水を確保するのかという検討から始めました。そのために、メーカーにヒアリングを行ったり、指針等の資料を読んで参考になることはないか探したりしました。

また、沈澱池やろ過池が地下にあるため、機器や配管の搬入が行いづらいことも課題の1つだったので、実際に現地に行きどのようなルートであれば搬入が行えるのかなどの検討を行いました。1つ目に紹介したポンプの更新設計では現地状況を把握するために現地調査を行うことが重要ということを知りましたが、この業務では現地で大まかな搬入方法や施工方法を考えることにより図面からはわからないことを実際に見ながら検討することができるため、施工性のよい方法を考えることができたことを学びました。

(3) 薬品注入設備更新設計

この業務では薬品注入設備の注入方式の選定や注入量や貯蔵槽容量を決めるための容量計算、既設設備を使用しながらの更新方法、配管ルートの計画などを行いました。

また、この業務では薬品注入設備の更新設計と併せて耐震補強についても検討しており、薬品注入室内にも耐震補強が必要な箇所があったため、工事工程を検討する際にどのタイミングで耐震補強工事を行うことができるのかなども検討しました。単純に設備の更新のことだけを検討するだけではなく、付近で行われる別の工事や対象範囲に関わる別の工事についても配慮し、計画する必要があることを学びました。

3. 出張先で食べて美味しかったものベスト3

ここからは、話題を変え、私が出張先で食べて美味しかったものについてランキング形式で紹介させていただきます。入社してから打合せや現地調査を行うために色々な場所に出張に行きました。出張で行く場所は普段、旅行先としては選ばないような場所もあり、訪れたこと

がない場所や食べたことがない名物と出会うことができました。

(1) 第3位：タコ飯【兵庫県】

出張先で食べて美味しかったもの第3位は兵庫県で食べた「タコ飯」です。兵庫県には旅行でも行ったことがあり、明石焼きなどの名物は食べたことがありましたがタコ飯は食べたことがなく、そもそもタコ飯という食べ物も知りませんでした。タコ飯は兵庫県に初めて出張に行った際にお刺身定食を頼み、初めて食べました。メインのお刺身も美味しかったのですが、初めて食べたタコ飯の美味しさに驚きました。兵庫県はタコ飯以外にも美味しいものがたくさんあるので出張に行くのが楽しみです。最近、兵庫県の新幹線の駅弁としてツボに入ったタコ飯が売られているのを見つけたので、今後行く機会があれば是非買って帰りたいと思っています。

(2) 第2位：天ざる蕎麦【長野県】

続いて、第2位は長野県で食べた「天ざる蕎麦」です。私は、もともと蕎麦よりもうどん派で、蕎麦は年に1回（年越しそば）程度しか食べていませんでした。しかし、蕎麦屋はどこにでも多くあることが多く、出張に行った際に蕎麦を食べる機会が多くあり、蕎麦の美味しさに気づきました。出張先で蕎麦は多く食べてきましたが、ダントツで美味しかったのが長野県で食べた天ざるそばです。冷たい蕎麦をえび天などが入った温かいつけ汁につけて食べるのですが、とても美味しく、心まで温かくなるような蕎麦でした。

(3) 第1位：ふぐ料理【福井県】

最後に第1位は福井県で食べた「ふぐ料理」です。今までふぐは唐揚げでしか食べたことがなかったのですが、初めて、てっさやてっちりなどのふぐ料理を食べた時はあまりの美味しさに感動しました。ふぐ料理のコースだったので、これ以上ふぐは食べられないと思うほどたくさん食べてとても幸せな時間でした。福井県はふぐが有名なことは知っていましたが、まさか出張に行き、食べられるとは思っていませんでしたので一番印象に残っています。



写真-1 福井県で食べた「てっさ」

4. おわりに

今回は私が携わった業務についてと出張先で食べて美味しかったものについて紹介させていただきました。4年目となった現在も学ぶことの多い毎日ですが、少しでも早く1人前の技術者になれるよう今後も努力していきたいと思っています。出張先での食事については振り返ってみるとたくさんの美味しいものを食べてきたことを思い出しました。

また、私は昨年結婚し、仕事に加えて慣れない家事に追われています。建設業界でも女性社員が少しずつ増加してきています。女性は男性に比べて「結婚」、「出産」、「育児」など環境の変化や働きたくても働きづらい状況になることが多いと思います。

時短勤務やフレックスタイム制などが出来れば各々のライフスタイルに合わせた働き方をすることができます。また、新型コロナウイルスの流行によりテレワークなどの新しい働き方も定着してきました。しかし、これらの制度が整っていても、まわりの方の理解がなければ制度を活用することが出来ません。

男性が多い建設業界でも「制度」と「環境」が整うことにより女性も働き続けやすい業界になると思います。私もテレワークなどを利用して仕事と家事を両立し、長く仕事を続けていきたいと思っています。